

# 岩手県のSNS利用に係る情報モラル教育

## —教材『SNS Chat!』の活用をおして—

2016.08 岩手県立総合教育センター [http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/sns\\_chat/index.html](http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/sns_chat/index.html)

### ■はじめに

岩手県では、昨今のインターネットや携帯電話・スマートフォンの急速な普及に伴う児童生徒のさまざまなトラブルの回避や安心・安全にネットを利用していくための情報モラル教育に重点を置き、平成21年度から「情報モラル教育推進事業」を推進しています。

LINEに代表されるSNSの利用は、児童生徒間に爆発的に広がりを見せており、その利用により、友人関係の崩壊などのトラブルが頻発しています。利便さ、楽しさの反面、機器の進歩や新しいアプリの利用においても、利用者各自が気をつけなければならないことをしっかり意識して利用していく態度を身に付けていく必要があります。

### ■教材『SNS Chat!』について

SNS利用に関するトラブルの回避や高機能端末を安心・安全に活用していくための指導教材として、HTMLをベースとしたサーバサイドアプリケーションをVBScriptで開発しました（教材名『SNS Chat!』）。

利用者は、サーバにWiFi接続したスマートフォンまたはタブレットから、限定されたグループ内でのトーク（情報交流）や文字情報だけではなく、画像や動画、スタンプなどのマルチメディアコンテンツも利用できる機能を持っています。また、スマートフォンやタブレットに標準で装備されているGPS機能を利用して位置情報を取得できる機能も加えました。

#### ●児童生徒の利用画面●

ページ内のテキストボックスにコメントを入力して、[送信/更新] ボタンをタップすることで入力完了し、最新記事は最下部に表示されます。

本教材には50名分のサンプルユーザが登録されており、管理者ページから、1) ユーザ全員が同一ページ内でトークできる設定、2) 5人組のグループでトークできる設定、3) 自由に友だちリストに追加したメンバーでトークできる設定を選択して利用することができます。

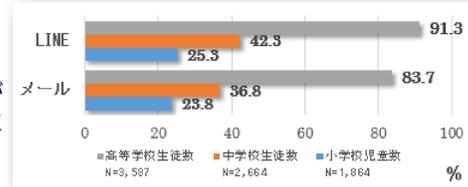
スマートフォンを利用することで、ブラウザ機能により新着コメントの着信を確認することができます。



【サーバ機】  
・Windows Server 2012 R2  
【クライアント機】  
・スマートフォン (Android or iOS)  
（ブラウザ Google Chrome）

### ■岩手県内の児童生徒のネット利用の実態

岩手県内の小学校・中学校・高等学校（抽出校）の児童生徒（小学校児童数N=1,864、中学校生徒数N=2,664、高等学校生徒数N=3,587）への「情報モラルに関するアンケート」（実施機関：岩手県立総合教育センター、調査期間：平成27年4～12月）結果から、「自分専用の携帯電話またはスマートフォンを持っている」割合は、小学校22.8%、中学校28.3%、高等学校98.4%と、中学校から高等学校になる段階で所有率の急激な上昇が見られます。また、電子メールの利用状況に比べ、LINEの利用状況の方が中・高等学校では上回っている状況でした。



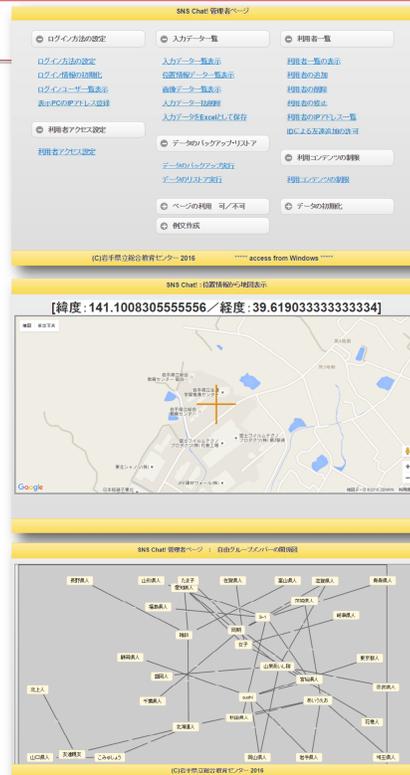
#### ●管理者の利用画面●

児童生徒の利用ページとは別に、指導者が授業内容に沿った各種設定や各種情報の表示ができる管理者ページを準備しました。

授業の前[事前]には、ユーザIDを入力してログインする方法や入力作業を簡略化するためにID入力なしにログインする方法の設定、グループ利用の設定、利用できるコンテンツの制限設定、ユーザの管理などを行うことができます。

また、授業の最中[事中]には、児童生徒が入力したコメントの一覧表示、各グループの表示やコメント数の表示、位置情報が含まれた画像データから経度緯度情報の表示、GoogleMap上へのマッピング、ユーザのページ利用可/不可を設定することができます。児童生徒が自由に友だちを登録するとその友だち関係の相関図を表示させることができます。

さらに授業の後[事後]には、児童生徒が入力したデータのバックアップ、入力データのExcel形式での出力やコメントデータの削除などを行うことができ、入力データの分析に活用することができるものとしたました。



### ■授業実践の様子

各校種の利用実態に応じた指導内容や展開で、岩手県内の学校を中心にSNS利用に係る授業実践を進めてきました。また、岩手県内のみならず、東京都町田市立本町田東小学校での授業実践の機会をいただきました。スマートフォンの操作方法に特化するのではなく、ネット利用者として、自分が投稿する言葉一言の重みを考えさせる授業を展開しました。

#### 小学校の実践（その1）

##### ☆SNS上の「ひと言」で友人関係が！

- 東京都町田市立本町田東小学校
- 平成28年6月9日（木）～10日（金）
- 4～5年生
- 内容の具体  
SNS上の「言葉のすれ違い」について、『かわいくない』という言葉が、いい意味と悪い意味を持つことで、発信者の思いを伝えることができなかったことについてグループで議論させました。
- 教材  
・SNS Chat! / スマートフォン



#### 中学校の実践

##### ☆友だちリスト全員に返信できない！

- 岩手県八幡平市立西根第一中学校
- 平成28年4月27日（水）
- 1～3学年
- 内容の具体  
見知らぬ人でも簡単に友だちリストへ登録することができるが、それらの人々と万遍なく情報交流（トーク）することの難しさを体験させました。
- 教材  
SNS Chat! / スマートフォン



#### 小学校の実践（その2）

##### ☆登場人物の心情を考えてみると！

- 岩手県遠野市立土淵小学校
- 平成28年5月24日（火）
- 5・6年生
- 内容の具体  
5人の仲良しグループ内で起こったSNS上でのトラブル事例を紹介し、登場人物の置かれた状況を踏まえながら、役割演技的に会話を進め、よりよい関係づくりの仕方について考えさせました。
- 教材  
SNS Chat! / スマートフォン



#### 高等学校の実践

##### ☆SNSがストレス発散の場？！

- 盛岡白百合学園高等学校
- 平成27年10月26日（月）～30日（木）
- 1～3年生
- 内容の具体  
感情的な発言が周りにもたらす影響について、読み物教材を元に、友人が「シカトしてやる」とSNS上へ書き込んだことをきっかけに、自分ならどのようにグループ内でフォローしていくのかを考えさせました。
- 教材  
SNS Chat! / スマートフォン



### ■児童生徒感想

【小学生】・私がスマホを持つときにはSNSが怖い。できるだけ、SNSじゃなくて、電話や直接会って、表情を見せて、悪口のないようにがんばりたいと思います。  
【中学生】・普段SNSを使用する際に、頻りに連絡を取り合うのは友人や家族なので、しっかり考えたことはなかったのですが、相手の情報が一切わからない状態でやり取りすることが本当はとても不安で怖い事であることを実感しました。今まで軽く考えていたことを反省します。  
【高校生】・私には関係ないことだと正直思っていたことが、身近に感じることができました。インターネット上でのコミュニケーションでも相手を思いやる気持ちの大切さを知ることができました。  
・SNSの楽しさにはまると善悪の判断すら正しくできなくなるのだと感じた。スマホの使い方を深く考えさせられた。全ての行動に責任を持ち、後悔しない行動をしたいと思っています。

### ■おわりに

スマートフォンやケータイ所有の低年齢化で、より小学生からの指導が必要となってきていることを実感しています。思ったことをすぐに表現してしまう素直な部分や本音と立前の使い分けができない若い年齢でのトラブルも見逃せません。実機を利用した授業は、児童生徒に身近な問題と実感させ、当事者意識を持たせるためには有効であったと思われます。